



のびのび若っ子

『「日本に不可能はない」―挑戦する心を大切に―』

特別支援コーディネーター 原田 亮

梅雨の晴れ間に夏らしい日差しを感じ、校庭から見える若葉台の景色も段々と緑色になり、夏の訪れを感じられる季節となりました。6月は初旬に台風が発生したり、6年生が日光修学旅行に行ったりと怒涛の毎日でした。下旬には5年生が本校では初めての三浦での宿泊体験学習を終えて、1つ成長した姿で帰ってきました。

さて、6月から始まる4年に一度の大きなイベントと言えば・・・そうです、いよいよ2026年、世界中が注目するサッカーの祭典、2026 FIFA ワールドカップが開幕しました。日本代表を率いる森保一監督は、「日本に不可能はない」という信念を掲げ、世界の強豪に挑み続けています。

森保監督の言葉には、「最初からできないと決めつけるのではなく、可能性を信じて挑戦し続けよう」という強い思いが込められています。2022年のワールドカップでは、世界ランキング上位の国々を相手に日本代表が堂々と戦い、多くの人々に感動と勇気を与えました。その背景には、選手一人一人の努力はもちろん、互いを信頼し、チームとして力を合わせてきた積み重ねがありました。

森保監督は、勝敗だけでなく、「仲間を大切にすること」「感謝すること」「自分の役割を果たすこと」を大切にしていると言われています。ピッチに立つ1人だけでなく、控え選手やスタッフを含めた全員がチームの一員として支え合う姿は、私たちが目指す学校生活にも通じるものがあります。

学校も一つのチームです。学級では、友達の考えに耳を傾けながら学び合います。委員会活動では、学校全体のために責任をもって活動します。運動会や学習発表会では、一人ひとりの力が集まることで大きな成功につながります。得意なことや苦手なことは人それぞれですが、だからこそ互いのよさを認め合い、支え合うことが大切です。

また、挑戦には失敗がつきものです。しかし、ワールドカップを目指す選手たちも、数え切れないほどの失敗や悔しさを経験しながら成長してきました。失敗を恐れて行動しないのではなく、失敗から学び、次の一歩につなげるからこそが成長への道です。

本校でも、「まずやってみる」「仲間と協力する」「最後まであきらめない」という姿勢を大切にしながら、子どもたちがさまざまなことに挑戦できる環境を整えていきたいと考えています。子どもたち一人一人が、自分の可能性を信じ、新しいことに挑戦しながら成長していく一年となることを願っています。

今回のワールドカップで今後も日本代表が世界の舞台で躍動する姿に大きな期待を寄せるとともに、本校の子どもたちもまた、それぞれの夢や目標に向かって力強く歩んでくれることを願っています。保護者・地域の皆様には、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にすることを育みます』

『意欲的な学びの芽を育みます』